

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率100%

保護者様： 16名回答、回答率80%

職員の意見

○環境・体制整備

・教室環境は、毎日清掃を行い、清潔な環境を保っており、立って活動するスペースと、座って活動スペースを分けることで安全に過ごせるよう整備を行っている。教室内のルールはイラスト付きで掲示されており、子どもにも分かりやすいように工夫されている。個別の部屋については、現在準備を行っている。職員体制は、職員が不足とならないように法人内で適宜調整を行ってきた。

○業務改善

・毎日業務前にミーティングを実施しており、当日不在の職員についてもノートでの共有が行われる。職員の資質の向上を図るために、社内の研修に積極的に参加を行っている。保護者の意向についてはアンケートなどを行い、活動などに活かしている。

○適切な支援の提供

・活動プログラムは固定化されないように、工夫して行われている。行った支援について必ず記録とっているおり、業務前のミーティングでは子どもの様子や保護者等の意向の共有し、支援に対して意見交換を行い、チームで連携した支援を行っている。地域交流の機会の提供は、現在行われていないため、祝日や長期休みを利用して交流を深めていきたい。

○関係機関や保護者との連携

・保護者とは、日ごろからこどもの様子を共有し、子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている。必要に応じて、学校の先生とも情報共有を行い連携を行っており、保育所等訪問支援サービスの実施が始まり、連携が深まる様に努めていきたい。地域との連携については、地域の協議会へ児童発達支援管理責任者が参加をし、地域との連携に努めている。

○保護者への説明責任等

・契約時には、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。日々の支援について月に1回のニュースレターや保護者会も実施で共有することで見える化を図っているが、HPの利用やSNSの活用は出来ていない為、定期的に配信し、より理解を深められるようにしていく。

○非常時等の対応

・非常事態についてマニュアル作成に加えて、実際に訓練を行うことで対策を行っている。アレルギーに関しても表などで共有し、全員で確認できる体制作りを行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・「清潔で心地よく過ごせる環境になっていますか。」や「こどもに分かりやすく構造化された環境になっていると思いますか。」など生活空間についての質問では10割の方が「はい」と答えており、満足度が高いことが伺えた。一方で、職員の配置数について「人員に余裕が無いように感じられる」とのご意見も頂いた為、人員の確保も含めて、安心して過ごせるよう連携も密にしていく。

○適切な支援の提供

・「こどものことを十分に理解し個別支援計画が作成されているか」「子どものことを十分に理解し、特性に応じた専門性のある支援が受けられているか」という質問について10割の方が「はい」と回答していただいた。地域との交流に関しては、少なかったこともあり今後は、地域のイベントに参加出来るところはないか調べ、交流の機会を増やしていきたい。

○保護者への説明等

・「定期的な面談等の支援が行われているか・日頃からこどもの状況を伝えあい、共通理解が出来ている」という項目では10割の方が「はい」と回答しており、高い評価を得ていると考えられる。保護者や家族へに関しては、「いいえ」や「わからない」も多かったため、保護者会だけでなく、兄弟も参加できるイベントなども検討していきたい。

○非常時等の対応

・非常時等の対応に関する項目ではすべての質問で8割を超える方から「はい」という回答をいただいた。2割は「分からない」という回答であったため、保護者会・メール・口頭など様々な方法で共有することで、非常時にしっかりと連携できるように努めていきたい。

○満足度

・「事業所の支援に満足しているか」という項目では、全ての方から「はい」と回答をいただいた。一方で「校外学習のようなイベントを希望します。また、近隣の公園への外遊びも月に数回でもいいので運動活動を希望します。」のご意見をいただいた為、今後、課外活動の実施方法について検討し、実行に移していく。

昨年度の振り返り

○今年度に取り組む具体策

- ・活動プログラムについて職員間で月間の予定を検討し、新しいプログラムを全体で考えて実行する。
- ・利用者の体格やニーズに合わせた備品が用意できるよう教室備品の見直し・再設置を行う。
- ・保護者会の開催に向け、保護者に日程や時間などのアンケートを取り、会の開催方法、日時を検討し多くの保護者が保護者会に参加できるよう取り組む。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・活動プログラムは月間の予定表を作成し固定化されないように取り組むことが出来た。
- ・教室備品の見直し、再設置については検討は行ったが、整備までは十分ではないため、引き続き整備をしていきたい。
- ・保護者会の実施は出来たが、より多くの保護者が参加できる方法については引き続き検討を行いたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・子どもの特性を十分に理解した個別支援計画とそれに基づく支援について保護者の方からの満足度が高い。
- ・職員間のミーティングなどを通して、チームで連携した支援が行われている。
- ・保護者と共通認識を持ちながら支援が行えている。

○改善点

- ・より多くの方に参加いただける保護者会を実施する。
- ・子どもの成長に合わせた環境整備をさらに進める必要がある。
- ・長期休みや祝日を利用して、地域交流や課外活動について実施方法の検討を行い、課外活動や地域交流の充実を図る。
- ・非常時の対応について、保護者会・メール・口頭などそれぞれの家庭に合わせて、周知を行う。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・より多くの保護者や家族が参加できる方法で保護者会・保護者参観を行う。
- ・職員の業務整理を行うとともに、子どもの生活環境を整備する。
- ・児童の成長に合わせた発達支援室の構造化に取り組む。
- ・近くに他教室がある環境を生かし、合同課外活動の実施したり、地域資源を利用した活動を増やすことで、課外活動の充実を図る。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者会の開催へ向けて多くの人に参加しやすい日時や方法の調査を行う。
- ・保護者会やメール・口頭など、それぞれの家庭に合わせて、非常時の教室の対応について説明を行う。
- ・成長に合わせて訓練室内に長机や相談室の設置を含めた環境改善を行う。
- ・課外活動の充実に向け、利用者の行きたいところや支援に繋がる施設などのリストアップや、地域資源について調べ、課外活動の充実を図る。また、他教室と合同で行う場合には、早めに企画案を作成し、教室以外との交流の機会を増やす。